

# 雪がた

豊科病院 広報誌

令和6年11月21日 発行

発行者 豊科病院広報文化委員会

〒399-8205

長野県安曇野市豊科 5777-1

Tel : 0263-72-8400

URL <http://www.shironishi.or.jp/>

## 豊科病院の理念

自他を問わず人間を愛し、慈しむ心を礎に、病める人、障害を持つ人、悩める人に常に自分の家族に接するように優しく接し、最良の医療・福祉サービスを提供し、地域の人々の要求及び個別的な要求にも応え、地域で人々が快適に生活できるような支援を行う。

## 各病棟 特製ケーキに舌鼓

10月下旬から、病棟ごとに特製ケーキを提供させていただいています。不定期の企画ですが、入院患者の皆さんが、その美味しさに舌鼓を打っています。

この企画は院内の給食委員会の発案です。新型コロナウイルスの流行が下火になったとはいえ、医療機関では、一度院内感染が発生すると終息に時間を要するため、未だに感染対策が継続しています。ここ数年は、かつて当院が行っていた、バイキング形式での食事なども実施を控えて来ましたが。

そこで、給食委員会は「新たな食の楽しみを」というテーマを立て、食事療養部と連携し、この特製ケーキの提供を試みています。当院の調理師が一皿一皿、丁寧にケーキを盛り付け、3時のお茶の時間に振る舞っています。



なお、一つの病棟においては、完全なサプライズにしたこともあり、突然登場したケーキに、入院患者の皆さんも大変驚かれました。

ある入院患者さんは「病棟でこんなに本格的なケーキを食べることができるとは思ってもい

なかった。  
そして、と  
ても美味し  
い」と言  
びの音が聞  
かれました。



## 菊の日

11月19日「菊の日」が開催されました。菊の日は、当法人に貢献、寄与された方々を表彰する式典です。毎年11月に、当法人内の各事業所において開かれます。

当院は今年度、患者さんの「家族から、たぐさんの車椅子を」ご寄付いただき、本式典にて表彰させていただきました。

そのご家族は「都立」より本式典を欠席されましたが、関理事長・総長より、謝辞を述べると

ともに、職員に対して「厚情に応えられるよう業務にあたって欲しい」と、職員に訓示しました。

表彰された方には、後日感謝状と記念品が贈呈されました。



## 五味渕病院長のつぶやき



ドジャースの大谷選手。高校生の時に書いた人生の目標は有名なエピソード。そこに書かれた内容通りになっているね。年齢は違うが、目標の通りに結婚をして、WBCチャンピオンになって、ワールドチャンピオンにもなっている。……「いつか」を現実としている。

「目標を定めて楽しくやる」と

いうことが、とても重要であることがわかる。但し、一般の人は、「楽しく」は難しいだろうけどね。大谷選手は、影の努力は相当あるのだからけど、それを表にはあまり出していないけどね。

今シーズンが終わり左肩関節の手術をした。来年の投手としての開幕は遅くなるだろう。でも、来年は二刀流はやるだろうね。右肘を手術して、リハビリ中にもかかわらず、50ー50達成するのはバケモノとしか言いようがない。



松本山雅はJ2への昇格に期待したいね。3バックにして、プレーオフ圏内に入っているが、願望としては、プレーオフで全勝して欲しい。いや全勝が必要。しかし、相手のフィードに距離を詰めるのが遅くて、割と相手にフリーで打たせてしまっている。自分たちのフィードでは正確性に欠けるからいがあるので、全勝は難しいかもしれないね。

## 文化祭開催

今年も10月に文化祭を開催いたしました。のど自慢大会のほか、秋を彩る文化祭作品の制作、展示が行われました。

のど自慢大会は、各病棟で行い、カラオケ機材で採点、優勝者を決める形としました。衣装を身にまとい、思い思いに熱唱される姿に皆拍手喝采で、会場は大いに盛り上がりました。また、優勝者の中には涙を流し喜ばれる方もいらっしゃいました。

文化祭に展示された作品には、2日間にわたり患者さんや職員が投票し、優秀者へ表彰も行われました。

会場となった作業療法室では入り口に色とりどりの花がちらばめられたゲートが設置されました。ゲートをくぐり会場に入

# 社会制度で安心 ⑪ グループホーム



様々な作品が展示された文化祭

る患者様たちからは「すごいね」「上手だね」と作品に対する温かい声が飛び交いました。

また、投票作品とは別に、1年かけて作った手工芸や、園芸で収穫されたサツマイモなどの展示も行いました。病棟とは違う雰囲気も感じてもらっており、参加者同士での会話もみられ、楽しい交流の場にもなっていました。

豊科病院では、『第一飛鳥荘』『第二飛鳥荘1』『第二飛鳥荘2』という3ヶ所のグループホームの運営をしております。今回はその紹介をいたします。

グループホームとは、障がいがあり、一人暮らしに自信のない方、住居の確保が難しい方に、地域で自由に生活を送っていただくことを目的とした共同の住居です。

## ●なんでもQ&A● ①いつからあるの？

第一飛鳥荘と第二飛鳥荘は、精神障がい者の皆さんに、『入院生活ではなく地域社会で生活をしていただきたい。』という願いから、昭和61〜62年にかけて無認可の『共同の住宅』として運営をスタートいたしました。当時は、『北寮』『東寮』『南寮』『安曇荘』という合計4つの共同の住宅を、多くの皆さんにご利用していただいております。

した。

平成4年には、南寮を『第一飛鳥荘』として、東寮を『第二飛鳥荘』としてグループホームの認定を受けました。両荘とも、精神障がい者を対象とするグループホームとしては、国内で初めて認可を受けたグループホームの一つです。そして、平成18年10月から、障害者総合支援法に基づくグループホームとして、再スタートいたしました。

## ②どんな人が入居できるの？

グループホームは、障害者総合支援法に基づく事業ですので、障害者総合支援法の申請をしていた後にご利用出来ます。第一飛鳥荘と第二飛鳥荘は、主に精神障がい者の方が対象です。

## ③入居期間はあるの？

ご希望されれば無期限で入居することが出来ます。但し、身体的

な疾病などで、グループホームでの生活が困難になった場合は、退去していただきます。

## ④入居費はどのくらいかかるの？

家賃、光熱水費、日用品費、食費(朝・夕の2食)を合わせて、月に約4万3000円〜6万7000円までご利用いただけます。



グループホームの居室

ます。部屋のタイプによって入居費が異なります。

⑤利用規則はあるの？

入浴回数、就寝時間、門限などは、特に定めておりません。入浴は毎日可能です。共同生活のルールは、入居されている皆さんで話し合い決めていただきます。

⑥どんなスタッフがいますの？

世話人・生活支援員・サービスマン管理責任者といった家族に代わる援助者がおり、皆さんの食事を提供したり、悩みごとを聞いたり、掃除・洗濯や買い物などのお手伝いもいたします。

⑦レクリエーションなどはあるの？

第一飛鳥荘と第二飛鳥荘で、合同のレクリエーションが年に4回あります。①春の小旅行 ②夏の暑気払い ③秋の小旅行 ④新年会、が恒例になっています



## 外来 医師担当表

令和6年11月1日現在

	月	火	水	木	金	土
内科	休 診	休 診	休 診	信州大学 病院 医師	休 診	休 診
精神科 ①	<small>なかざわ ちとお</small> 中澤 知遠 医師	<small>にしぎと よしあき</small> 西里 吉昭 医師	<small>ごみぶち みつのり</small> 五味 洵 満徳 医師	<small>おかざき たかし</small> 岡崎 隆司 医師 ※	<small>なかざわ ちとお</small> 中澤 知遠 医師	<small>ごみぶち みつのり</small> 五味 洵 満徳 医師
精神科 ②		<small>なかむら ちえみ</small> 中村 千恵美 医師			<small>なかむら ちえみ</small> 中村 千恵美 医師 (新患)	
◎ 受付時間		午前 7:00～正午				
◎ 診療時間		午前 9:00～終了まで		※木曜日の精神科は、午前 9:30～診療開始		
○ 午後は全科休診となります。				○ ご不明な点は受付へご確認ください。		
○ 日曜・祝日は全科休診となります。				お問い合わせ先…Tel0263-72-8400		

●編集後記●

雪がた 86号はいかがでしたでしょうか？

猛暑日だった夏も終わり、一気に秋を感じさせる陽気となりました。

プロ野球では日本シリーズも終わり横浜 DeNA が優勝。本誌編集担当者一同が注目している長野県出身の牧選手が日本一のキャプテンになりました。本来の打法を発揮できていないと思われるシリーズではありましたが、重要な場面でキャプテンとして勝負強さをしっかりと発揮し、チームの優勝へ貢献しました。高校1年春からスタメンで、上級生以上の並外れたパンチ力は全く変わりありません。

現在開催中の国際大会のプレミア 12 でも日本代表に選ばれ、欠かせない存在です。プロ野球選手の少ない長野県民において、それがどれだけすごいことか…。是非、世界でもそのポテンシャルを発揮してもらいたいと思います。世界の頂点に立てるよう同郷信州人として応援したいと思います。

※表題「雪がた」について

春から夏にかけて北アルプスでは様々な雪形が見られ、当院からは常念岳の常念坊や、蝶ヶ岳の蝶などの雪形を正面に望むことが出来ます。雪形が季節の変化に合わせて融けるように、患者様の病も融ける・・・表題にはそんな願いが込められています。また、表題の写真は当院屋上から撮影しました。